

浜銀総研 News Release



横浜銀行グループ

2025年3月19日

大幅に改善した神奈川県内中堅・中小企業の景況感

—— 企業経営予測調査 2025年3月調査結果 ——

要 旨

2025年3月末時点での神奈川県内の中堅・中小企業の業況判断DIは、全産業で▲1となり、前回2024年12月調査から10ポイント上昇した。これは2018年12月調査以来の高水準であり、販売価格の上昇による売上高の拡大が背景にあるとみられる。製造業ではDIが▲7となり、前回比16ポイント上昇した。特に化学・石油や一般機械、電子部品・デバイスで景況感が大きく改善し、輸送機械や電気機械などもDIが上昇した。一方の非製造業ではDIが+2となり、前回比6ポイントの上昇となった。運輸・倉庫と不動産が回復し、「良い」超に転じたほか、飲食店・宿泊や建設も改善した。

2025年6月末の予想については全産業が▲9となり、3月末比で8ポイント低下すると見込まれている。製造業では一般機械や輸送機械、非製造業では飲食店・宿泊や運輸・倉庫などで景況感が悪化すると予測されている。人手不足や仕入れ価格の高止まりが懸念されることから、企業の先行きに対する見方は慎重化したとみられる。

【本件についてのお問い合わせ先】

(株)浜銀総合研究所 調査部 新瀧 健一
TEL 045-225-2375 (調査部代表)

本資料の目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本資料記載した内容は、作成時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、発表後に予告なく変更することがあります。また、本資料に記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取扱いいただきますようお願いいたします。

企業経営予測調査

2025年3月実施

四半期別（第215回）結果

対象企業	神奈川県内の中堅・中小企業を中心とした1,078社 (うち製造業362社、非製造業716社)
回収率28.8%	(回答企業311社、うち製造業107社、非製造業204社)

【業況判断DI】

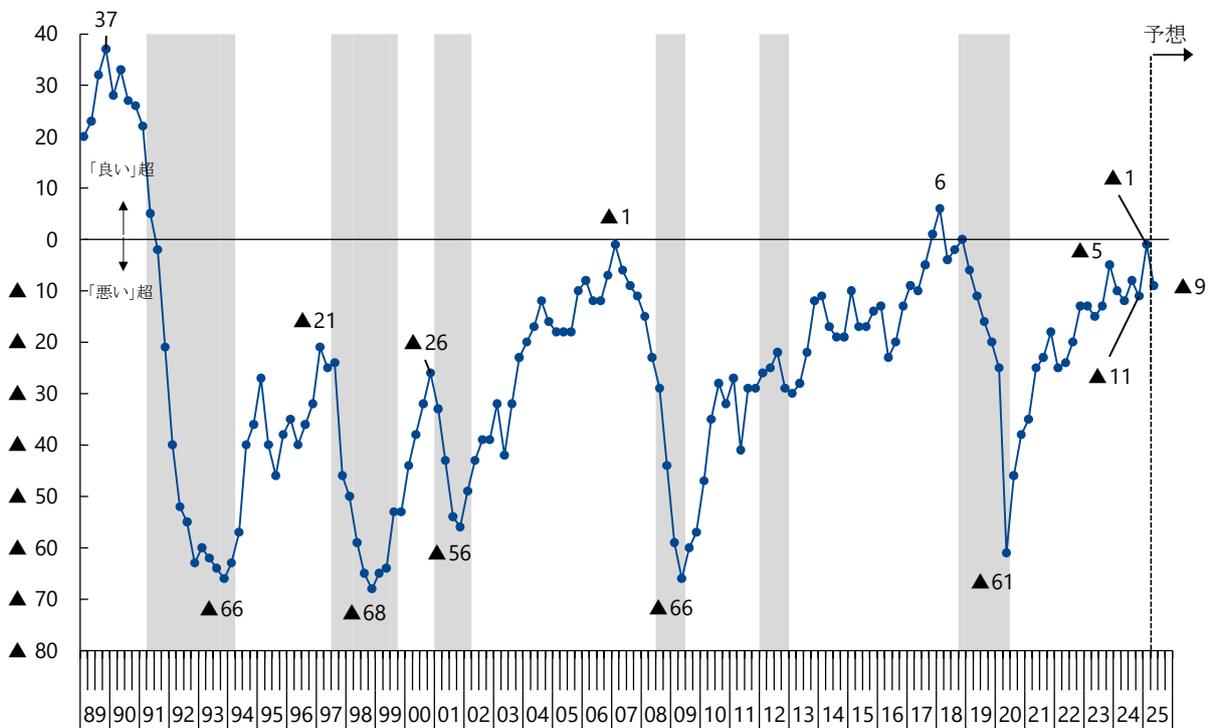
(2025年3月末)

2025年3月末時点における神奈川県内の中堅・中小企業の業況判断DI（全産業ベース、業況が「良い」－「悪い」、回答社数構成比、%ポイント）は前回2024年12月の調査から10ポイント上昇して▲1となり、前回の悪化から改善に転じた。DIの水準は2018年12月調査の0以来、6年3か月ぶりの高さにまで回復した。また、12月末時点での3月末予想（▲11）に対しても10ポイントの上振れとなった。県内企業の景況感は、販売価格の上昇による売上高の拡大などから回復している。

製造業の業況判断DIは前回2024年12月調査から16ポイント上昇して▲7となり、2019年3月調査（▲4）以来の水準となった。業種別には、前回調査で落ち込んだ化学・石油（前回調査：▲11→今回調査：+29）や一般機械（同：▲10→+14）、電子部品・デバイス（同：▲71→▲50）で景況感が大きく回復したほか、輸送機械（同：▲33→▲18）についてもDIが上昇した。

業況判断D.I.の推移
(全産業)

業況が「良い」－「悪い」
回答社数構成比、%ポイント



注1：各年の調査月は3、6、9、12月。
注2：網掛けは神奈川県の景気後退期を示す。
出所：浜銀総研「企業経営予測調査」

四半期／年

非製造業の業況判断DIも前回調査から6ポイント上昇して+2となった。業種別には、運輸・倉庫（同：▲10→+11）と不動産（同：▲8→+5）が回復して2023年12月以来の「良い」超に転じたほか、飲食店・宿泊が前回調査から15ポイント改善の+21となり、2007年6月（+27）以来の水準を記録した。建設も11ポイント上昇の+11と2014年3月（+12）以来の高さとなった。

（3か月先の予想）

2025年6月末時点の業況判断DI（全産業ベース）は▲9と、3月末実績比8ポイントの低下が見込まれている。製造業の業況判断DIは▲15と3月末比8ポイント低下し、非製造業も▲6と、8ポイントの低下が予想されている。製造業では一般機械や輸送機械など、非製造業では飲食店・宿泊や運輸・倉庫、建設などで景況感が悪化に転じると見込まれている。深刻な人手不足感や仕入れ価格の高止まりなどを背景に、先行きに対する予想は慎重にみる向きが多いとみられる。

足元の業況判断DIと3か月先の予想

（業況判断DI：業況が「良い」－「悪い」の回答社数構成比、%ポイント）

	2023年 6月末	2023年 9月末	2023年 12月末	2024年 3月末	2024年 6月末	2024年 9月末	2024年 12月末	2025年 3月末	2025年 6月末 (予想)
全産業	▲15	▲13	▲5	▲10	▲12	▲8	▲11	▲1(▲11)	▲9
製造業	▲28	▲27	▲16	▲23	▲24	▲17	▲23	▲7(▲17)	▲15
一般機械	▲32	▲11	▲9	▲20	▲12	0	▲10	14(▲15)	5
電気機械	▲28	▲22	▲14	▲14	▲12	▲11	▲11	▲8(6)	▲15
電子部品・デバイス	14	▲80	▲71	▲63	▲63	▲33	▲71	▲50(▲57)	▲50
輸送機械	▲25	▲17	0	▲27	▲35	▲21	▲33	▲18(▲38)	▲27
化学・石油	▲33	▲25	13	▲11	▲33	13	▲11	29(0)	29
鉄鋼・非鉄	0	▲50	▲33	0	▲25	▲56	▲38	▲43(▲25)	▲43
金属製品	▲39	▲38	▲12	▲47	▲31	▲38	▲29	▲27(▲29)	▲27
非製造業	▲7	▲5	1	▲2	▲4	▲3	▲4	2(▲8)	▲6
建設	▲16	▲16	▲16	▲2	0	8	0	11(2)	▲4
不動産	▲21	▲15	5	▲5	▲5	▲10	▲8	5(4)	5
運輸・倉庫	▲5	▲12	9	▲14	▲13	▲10	▲10	11(▲14)	▲6
卸売	3	9	10	15	0	3	3	7(▲11)	3
小売	▲14	▲3	9	0	▲7	▲10	▲4	▲7(▲13)	▲21
飲食店・宿泊	17	▲7	▲8	0	7	0	6	21(▲6)	▲7
サービス	▲10	9	7	▲16	▲9	▲14	▲25	▲24(▲29)	▲12

注: カッコ内は前回2024年12月調査（確報値）時点における2025年3月末予想である。データは2025年3月17日時点の速報値。

なお、回答企業数が少ない業種は表示していない。

出所: 浜銀総研「企業経営予測調査」

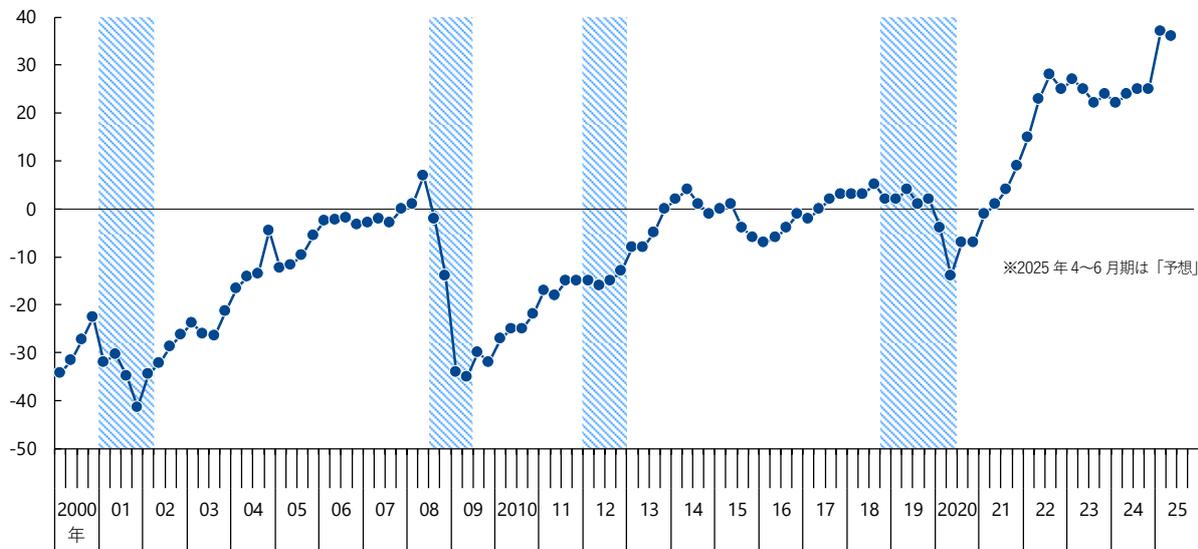
【参考】

販売価格動向の判断

2025年1～3月期の販売価格動向DI（前の四半期に比べて販売価格が「上昇」-「下落」の回答社数構成比、季調済、%ポイント）は前回調査から12ポイント上昇して+37と、1974年3月調査（+52）以来の水準となった。販売価格動向DIは2022年半ばから横ばい圏で推移してきたが、足元で急上昇した。製造業は+33と前回調査から11ポイント上昇した。輸送機械を除く全業種でDIが上昇し、なかでも鉄鋼・非鉄と化学・石油は大幅な上昇となった。一方の非製造業も10ポイント上昇の+38となった。業種別には、飲食店・宿泊や不動産、運輸・倉庫などが大幅な上昇となった。

4～6月期の販売価格動向DIは+36と、1ポイントの低下が予想されている。製造業では4ポイント低下の+29が見込まれている。鉄鋼・非鉄や電子部品・デバイス、一般機械などが低下に転じる予想である。一方の非製造業は+39と1ポイントの上昇を見込む。不動産や小売などが低下を見込む一方、卸売やサービスなどは上昇を予想する。

DI：「上昇」-「下落」、回答社数構成比、季調済、%ポイント



		2024年				2025年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月予想
全 体	上昇(A)	24	26	28	31	36	37
	変わらない	72	71	70	65	62	60
	下落(B)	5	3	2	3	2	3
	DI(A)-(B)	19	23	26	28	34	35
	季調済	22	24	25	25	37	36
業 種 別	製造業	16	17	21	22	33	29
	電気機械	20	19	23	21	43	55
	電子部品・デバイス	28	5	19	51	52	40
	輸送機械	24	25	28	21	15	9
	一般機械	0	11	12	33	39	28
	化学・石油	22	13	15	21	55	59
	金属製品	▲7	20	8	6	20	13
	鉄鋼・非鉄	6	21	37	▲4	35	10
	非製造業	25	27	27	28	38	39
	D I	建設	19	28	22	26	43
不動産		1	17	8	6	25	6
運輸・倉庫		18	24	26	20	38	39
卸売		44	32	38	44	28	36
小売		36	43	35	48	65	59
飲食店・宿泊		39	35	44	41	70	66
サービス		17	14	20	9	9	15

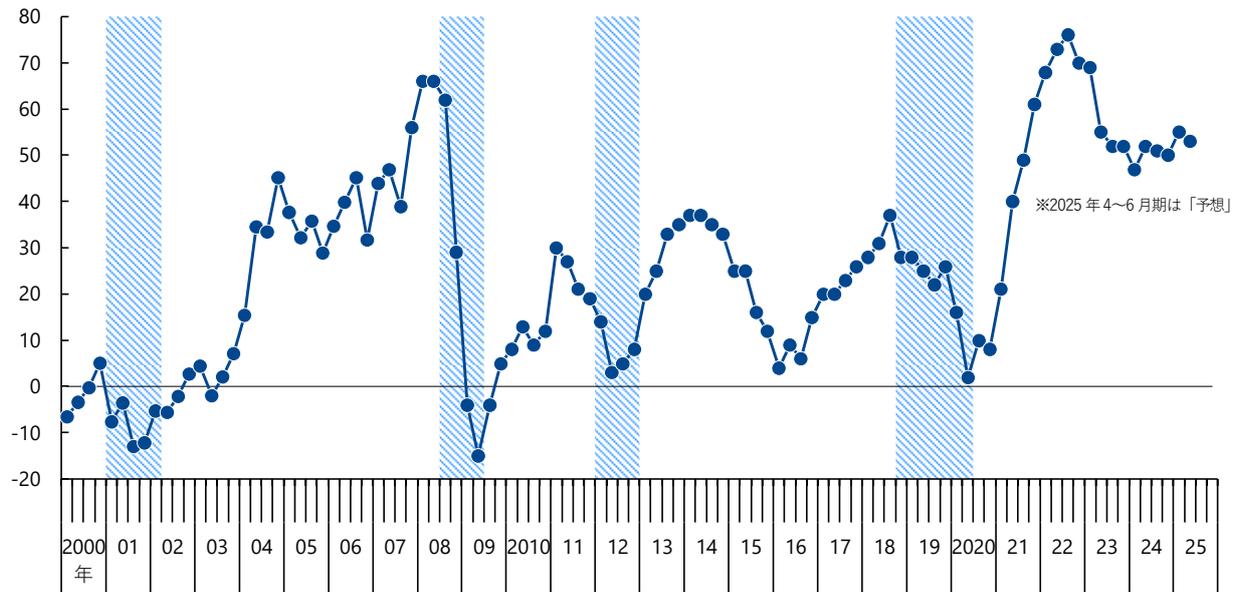
注：業種別DI値は季節調整値。季節調整値は各年とも12月調査の集計時点で再計算し改訂している。

仕入価格動向の判断

2025年1～3月期の仕入価格動向DI（前の四半期に比べて仕入価格が「上昇」-「下落」の回答社数構成比、季調済、%ポイント）は+55と前回調査から5ポイント上昇した。仕入価格動向DIは2023年後半からは横ばい圏で推移してきたが、足元でやや強含んでいる。製造業は+45と前回調査比横ばいとなった。業種別には、化学・石油や電気機械、鉄鋼・非鉄などでDIが大きく上昇した。反面で一般機械や輸送機械は低下した。非製造業は建設と小売が上昇したことから+65と11ポイントの上昇となった。

4～6月期は+53となり、1～3月期実績から2ポイント低下する見通しである。金属製品や一般機械などで上昇が見込まれているものの、製造業では鉄鋼・非鉄や化学・石油など、非製造業においては小売などが低下する予想になっている。

DI：「上昇」-「下落」、回答社数構成比、季調済、%ポイント



		2024年				2025年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月予想
全 体	上昇(A)	48	55	48	53	56	57
	変わらない	50	45	51	45	42	40
	下落(B)	2	0	1	2	1	3
	DI(A)-(B)	47	54	47	52	55	55
	季調済	47	52	51	50	55	53
業 種 別 D I	製造業	41	50	47	45	45	45
	電気機械	53	66	38	45	70	72
	電子部品・デバイス	50	65	37	45	67	61
	輸送機械	46	51	51	45	23	23
	一般機械	39	37	39	59	29	38
	化学・石油	32	25	40	42	70	58
	金属製品	13	45	40	27	40	53
	鉄鋼・非鉄	40	75	70	27	50	4
	非製造業	54	57	51	54	65	61
	建設	49	58	56	54	67	65
卸売	70	53	51	49	49	46	
小売	47	58	41	62	69	58	

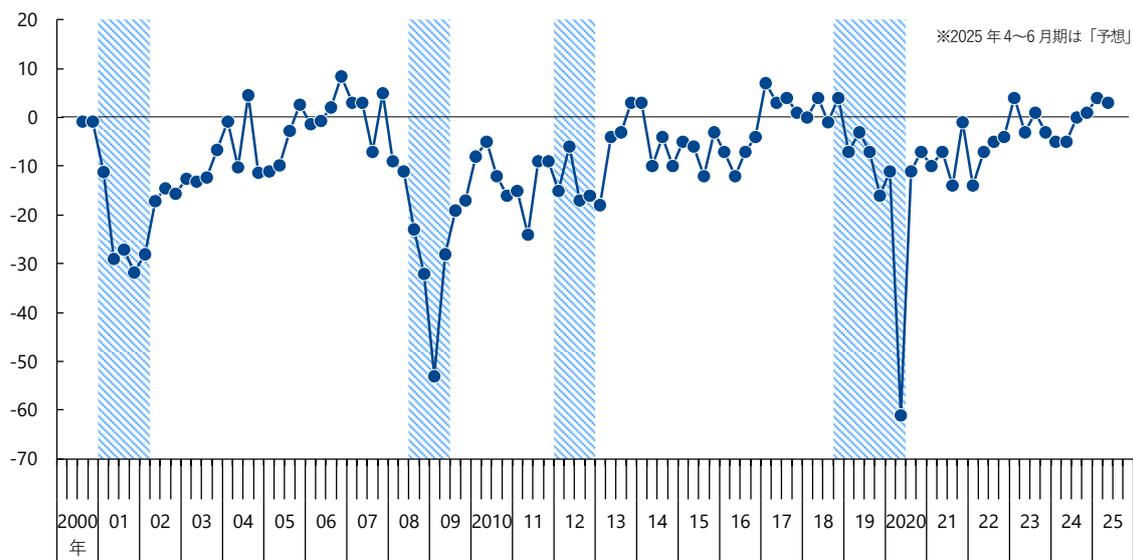
注：業種別DI値は季節調整値。季節調整値は各年とも12月調査の集計時点で再計算し改訂している。

売上動向の判断

2025年1~3月期の売上動向DI（前の四半期に比べて売上高が「増加」-「減少」の回答社数構成比、季調済、%ポイント）は+4と前回調査から3ポイント上昇した。DIの上昇は3四半期続いている。製造業のDIは▲3と前回調査から6ポイント上昇した。業種別には、化学・石油や電子部品・デバイスなどが上昇した反面で、一般機械や輸送機械などは低下した。一方、非製造業は2ポイント上昇の+8と3四半期連続の「増加」超となった。業種別には小売や飲食店・宿泊、不動産でDIが大きく上昇した。反面で運輸・倉庫や卸売などではDIが低下した。

4~6月期の売上動向DIは1ポイント低下して+3となる見込みである。製造業は一般機械や電気機械、輸送機械などの持ち直しにより+2と5ポイントの上昇が見込まれている。一方の非製造業では、不動産や小売、飲食店・宿泊が悪化予想であることから、4ポイント低下の+4が見込まれている。

DI：「増加」-「減少」、回答社数構成比、季調済、%ポイント



		2024年				2025年	
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月予想
全 体	増加(A)	27	22	26	33	27	20
	変わらない	37	40	52	46	45	51
	減少(B)	36	38	22	20	27	29
	DI(A)-(B)	▲9	▲16	4	13	0	▲9
	季調済	▲5	▲5	0	1	4	3
業 種 別 D I	製造業	▲5	▲10	▲6	▲9	▲3	2
	電気機械	8	0	▲5	▲10	4	15
	電子部品・デバイス	▲32	▲58	▲30	▲19	8	▲2
	輸送機械	▲18	1	▲4	▲2	▲17	▲6
	一般機械	▲21	▲24	▲17	▲4	▲21	26
	化学・石油	32	▲10	▲40	▲25	34	32
	金属製品	▲13	10	11	▲10	▲12	▲13
	鉄鋼・非鉄	13	2	15	▲4	▲18	▲12
	非製造業	▲5	▲3	5	6	8	4
	建設	▲11	3	6	2	6	10
	不動産	▲13	▲18	7	▲5	16	▲15
	運輸・倉庫	4	▲1	18	24	7	9
	卸売	0	0	15	18	4	11
小売	4	9	▲11	▲11	21	▲9	
飲食店・宿泊	24	16	7	6	33	9	
サービス	▲4	▲14	▲10	▲1	▲5	3	

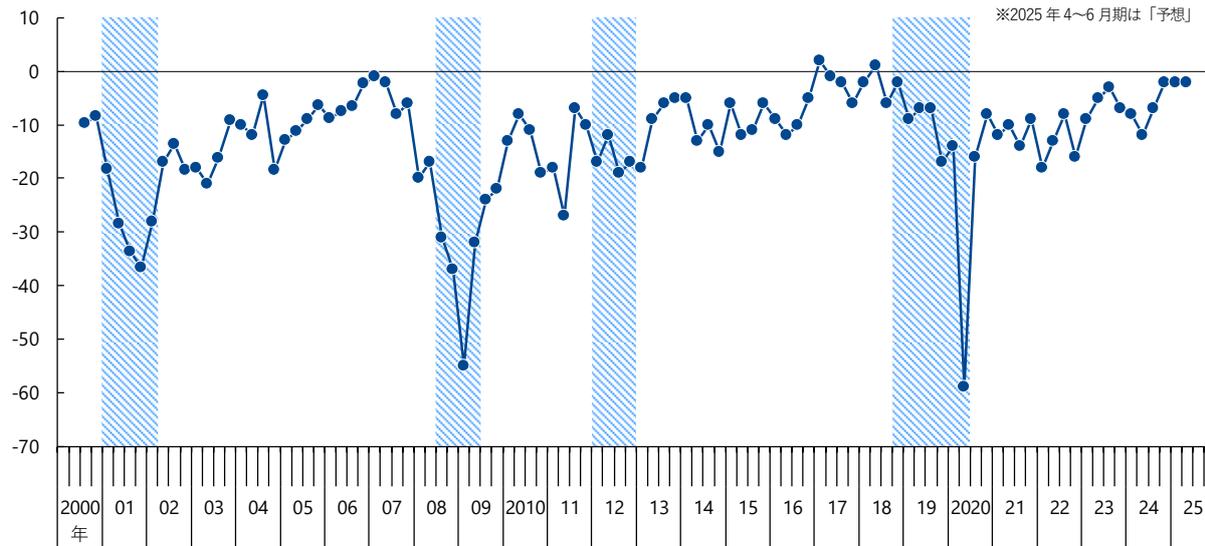
注：業種別DI値は季節調整値。季節調整値は各年とも12月調査の集計時点で再計算し改訂している。

損益動向の判断

2025年1～3月期の損益動向DI（前の四半期に比べて損益状況が「好転」-「悪化」の回答社数構成比、季調済、%ポイント）は▲2と前回調査から横ばいとなった。DIは2018年7～9月期以降、「悪化」超が続いている。製造業が▲7と前回調査から1ポイントの上昇となった。業種別には、輸送機械と化学・石油でDIが大きく上昇した。反面で電気機械や金属製品、鉄鋼・非鉄ではDIが低下した。一方、非製造業は1ポイント低下の+1となった。業種別には、サービスと卸売でDIが低下した一方、運輸・倉庫や建設、小売などは上昇した。

4～6月期の損益動向DIは▲2となり、引き続き横ばいとなる見込みである。製造業では電気機械や鉄鋼・非鉄など、非製造業はサービスと卸売が改善予想となった。

DI：「好転」-「悪化」、回答社数構成比、季調済、%ポイント



		2024年				2025年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月予想
全 体	好転(A)	21	16	19	27	21	16
	変わらない	47	50	58	53	53	58
	悪化(B)	32	35	24	20	26	26
	DI(A)-(B)	▲11	▲19	▲5	7	▲5	▲10
	季調済	▲8	▲12	▲7	▲2	▲2	▲2
業 種 別	製造業	▲11	▲18	▲16	▲8	▲7	▲6
	電気機械	10	▲6	▲21	▲8	▲24	0
	電子部品・デバイス	▲22	▲71	▲21	▲20	▲13	▲50
	輸送機械	▲30	▲10	▲23	▲23	10	▲12
	一般機械	▲19	▲16	▲28	▲3	6	13
	化学・石油	28	▲19	▲49	▲16	8	8
	金属製品	▲16	▲13	9	9	▲2	▲15
	鉄鋼・非鉄	▲28	▲31	6	▲28	▲38	▲22
	非製造業	▲6	▲8	▲2	2	1	▲1
	建設	▲14	0	0	▲2	3	▲6
D I	不動産	▲23	▲8	▲6	▲4	1	▲17
	運輸・倉庫	▲7	2	34	20	28	11
	卸売	7	▲17	9	3	▲6	4
	小売	9	2	▲23	▲14	▲6	▲17
	飲食店・宿泊	15	▲11	▲24	21	25	10
	サービス	▲4	▲19	▲17	▲5	▲17	7

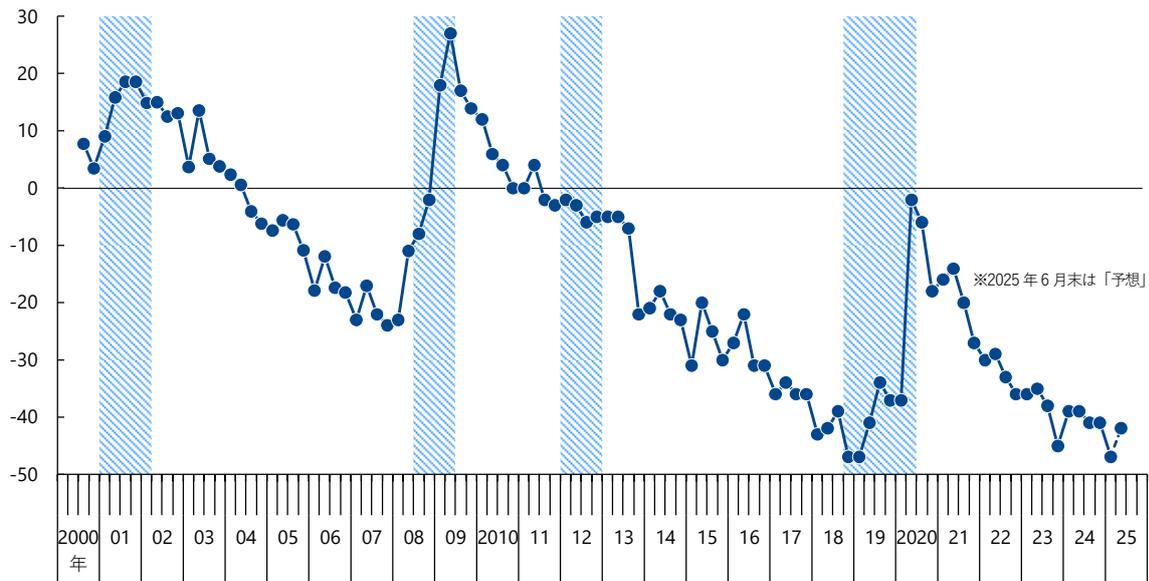
注：業種別DI値は季節調整値。季節調整値は各年とも12月調査の集計時点で再計算し改訂している。

雇用人員の判断

2025年3月末時点の雇用人員判断DI（雇用人員が「過剰」-「不足」の回答社数構成比、%ポイント）は前回調査比6ポイント低下の▲47となった。「不足」超幅は2019年3月調査（▲47）以来の大きさとなった。業種別には、製造業が▲33と前回調査から11ポイント低下した。業種別には化学・石油と輸送機械でDIの低下幅が大きくなった。一方、非製造業のDIは▲55と前回調査から4ポイント低下した。不動産やサービスなどでDIが低下した反面で、運輸・倉庫や建設は上昇した。

6月末の雇用人員判断DIは▲42となり、3月末比5ポイントの上昇を予想する。製造業が11ポイント上昇の▲22を見込み、非製造業では3ポイント上昇の▲52を予想している。

DI：「過剰」-「不足」、回答社数構成比、%ポイント



		2024年				2025年	
		3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末予想
全 体	過剰(A)	9	6	5	7	4	4
	適正	43	48	48	44	44	51
	不足(B)	48	45	46	49	52	45
	DI(A)-(B)	▲39	▲39	▲41	▲41	▲47	▲42
業 種 別 D I	製造業	▲17	▲20	▲23	▲22	▲33	▲22
	電気機械	▲14	▲12	▲6	▲17	▲15	0
	電子部品・デバイス	25	29	11	29	17	0
	輸送機械	▲9	0	▲25	0	▲23	▲14
	一般機械	▲45	▲44	▲52	▲50	▲52	▲52
	化学・石油	▲22	▲25	▲13	▲33	▲57	▲14
	金属製品	▲7	▲31	▲23	▲36	▲40	▲27
	鉄鋼・非鉄	▲40	▲25	▲44	▲25	▲29	▲29
	非製造業	▲52	▲50	▲51	▲51	▲55	▲52
	建設	▲65	▲66	▲63	▲68	▲65	▲65
	不動産	▲23	▲32	▲30	▲21	▲30	▲25
	運輸・倉庫	▲52	▲50	▲57	▲71	▲67	▲67
	卸売	▲33	▲29	▲36	▲32	▲33	▲37
	小売	▲60	▲67	▲41	▲50	▲53	▲50
飲食店・宿泊	▲55	▲29	▲53	▲63	▲69	▲54	
サービス	▲53	▲47	▲56	▲54	▲61	▲48	

以上